

日本 NGO 連携無償資金協力 (Grant Assistance for Japanese NGO Project)
効果検証シート (EFFECT/IMPACT MEASUREMENT/EVALUATION SHEET)

◎基本情報

国名・案件名 Country / Project Name	フィリピン・タナウアン市コミュニティ開発による所得向上プロジェクト
事業費総額・N 連支援額 Total Budget / Grant Amount	総額 992 万 9634 円 (内支援額 580 万 0912 円、自己資金 412 万 8722 円)
事業開始日と完了日 Date & Duration of Project	2008 年 2 月 28 日～2009 年 2 月 27 日
延長の有無及び期間 Date & Extension Period	なし
事業の上位目標 Overall Goal	貧困層の収入が向上する
プロジェクト目標 Project Goal (Objective)	対象者が必要なスキルを身につけ、収入の増加に繋げる
成果(小目標) Expected Outputs	①特産品の販売が促進される ②協同組合／対象者の生産技術が強化される ③協同組合／対象者の運営能力が強化される
事業概要・活動内容 Project Summary	<p>事業対象地域のバタンガス州タナウアン市一帯は、一部の工業団地と残る大部分の農村部によって構成されている。農村部は、貧しい村落がここかしこに点在している一方、ここ 10 年あまり、雇用を求め他州から貧しい労働者の流入が続いており、貧困率の増加も問題になっている。そこで同協会は、1995 年から実施してきたこの地域における複数の収入向上プロジェクトをベースに、2006 年に KH 財団をカウンターパートとし、同市と連携して雇用・健康・教育プロジェクトを開始した。当該事業は、その延長線上にあるもので、地元の共同組合の能力を高め、販売業者との提携強化、人的資源の開発、市場の拡大等を通じて同地域の活性化を図るものである。具体的には対象地域の特産品の品質改善やマーケティング支援を通して雇用機会の増大と収入向上に着手する。また具体的な活動内容として以下の 4 つを想定している。</p> <p>①各村落の特産品の品質向上、販売促進、マーケティングを行う（これは各特産品のデザイン・品質の向上、パッケージングの向上、販売促進活動、マーケティングの実施などである）</p> <p>②技術研修を実施する（これは生産技術、梱包、製造管理など事業運営に関わる技術研修である）</p> <p>③組織マネジメントの能力開発を行う（これは生産マネジメントやファイナンスマネジメントなど、組織運営に関わる技術研修である）</p> <p>④食品加工施設の政府機関への登録、食品関連の特産品の製造・販売を行う（これは、プロジェクト対象地域の協同組合に設置された食品加工施設を政府機関に登録することである）</p>

指標からみた達成度 Degree of Achievement	立案時に指標を設定した項目 Evaluation Items	立案時目標値 Success Indicator when Planned	終了時達成値 Achievement Indicator at the Project-end
<p>プロジェクト目標とインパクトに関する指標の目標値と達成値</p> <p>Objectively Verifiable Indicators against Project Goal and Overall Goal</p>	<p>プロジェクト目標</p> <p>①収入増加</p> <p>②スキル強化</p> <p>③運営強化</p>	<p>①協同組合の収入が5千ペソ／月確保される</p> <p>②160名の生産技術、マーケティングスキルが向上する</p> <p>③全組合の運営管理能力が身につく</p>	<p>①メディアの利用、イベントや見本市に積極的に参加し、販売促進を行ったことにより、スーパーや都市部への新たな販路が確保された。これにより受益者の収入が向上した（具体的な数値に言及なし）。</p> <p>②専門家による技術研修が行われ、生産技術、パッケージング、製造管理および品質管理規則などの改善が行われた（具体的な対象人数、度合いに言及なし）。</p> <p>③生産マネジメントや会計など、組織運営に関わる技術研修が行われ、対象者の組織運営能力が向上した（具体的な対象人数、度合いに言及なし）。</p>
	<p>インパクト</p> <p>①雇用拡大</p> <p>②貧困解消</p>	<p>①雇用機会が拡大する</p> <p>②対象村の貧困が解消する</p>	<p>①報告書の中で言及なし。</p> <p>②受益者の収入が向上したことで、いくつかの家庭では子どもを学校に通わせることができ、貯蓄も出来るようになっている。</p>
<p>前提条件又は外部要因 Pre-conditions and Important Assumption</p>	<p>資料に記載事項なし</p>		
<p>他のアクターとの役割分担の状況・複数年プログラムの中における位置づけ Division of Roles with other Actors / Positioning of the Project in-between multi-year Program</p>	<p>本プロジェクトはカウンターパートのKH財団と共同で行われた。対象となる協同組合は既に地方自治体、同財団と共に連携して設立され、特産品の開発も着手されていた。本事業はその流れの中で商品開発プロセスとマーケティングに付加価値を加える役割を担うものであった。</p>		

◎検証結果（Result of Impact/Effect Measurement）

1. 検証概要（Outline of Measurement Results）

検証日時（期間・季節） Date / Duration / Season	2009年11月30日－12月7日
検証実施者（敬称略） Name of Surveyor	2009年度効果検証プログラム作業チーム、松田書記官、稲畑誠三、田中元フィリピン大使
検証該当期間 Period Measured	事業終了後9ヶ月
指標等から確認できた 事業効果の現状 Description of Project Impact against Indicators	(1) プロジェクト目標 組合により差は見られるものの、計画に合った活動が行われ、各種研修の実施、販路の拡大、収入の増加、また組合員も増加していることが確認できたことから、本事業の目的は達成されたと判断した。
	(2) 自立発展性 地方自治体の強力なバックアップのもとに、プロジェクトの中で組合運営に関する各種研修が行われ、現在もその研修を活かし組合運営が滞りなく行われていることが確認できた。
	(3) インパクト 貧困者の雇用が増え、部分的にはあるが上位目標達成への動きが見られることが確認できた。 対象となったバランガイにおいては、さまざまな経済活動が試験的に行われまた維持されていることが確認でき、受益者の中には新たな雇用を生み出し、収入の増加に繋がっているケースも散見された。
備考 Remarks	該当なし

2. 項目別検証結果（Result of Impact Measurement by Evaluation Items）

項目（Item）	結果 Result	結果説明（Description of the Result）
有効性 Effectiveness	-	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターパートから提示された資料、組合へのインタビューより、いくつかの組合では一月あたり7万5千ペソなど目標を上回る売り上げをあげていることを確認した。 ・現地専門家による技術研修が実施された。又地方自治体やカウンターパートによる緊密なモニタリングも行われていることを確認し、パッケージ等の改善を確認することが出来た。 ・チームビルディング、リーダーシップ、会計等、組合の運営管理に関する各種の研修が行われ、それが組合運営に現在でも活かされていることをインタビューにより確認できた。

<p>インパクト Impact</p>	<p>-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員によるインタビューより、プロジェクト前は1名を雇用していたが、現在は6人雇用していることを確認。 ・これまでの事業の成果として、組合員が団結して自主的な活動として共同購入・販売の売店経営を行っているような例も見受けられた。 ・プロジェクト終了後も地方自治体、カウンターパートによるモニタリングがおこなわれていることを確認。ダラサ村、ローレル村の組合リーダーへのインタビューや記録を確認し、ミーティングも定期的に(原則月1回)実施されていることも確認した。 ・自ら大手スーパーなどに卸している組合員も存在し、一部商品はフランチャイズ化も予定されている。他方、マーケティング活動においては、地方自治体が役割を担っており、住民が依存する傾向が見受けられた。
<p>自立発展性 Sustainability</p>	<p>-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターパートであるKH財団は自己資金を用い現在も周辺地域5村において事業を実施していることも確認できた。 ・他方、リーダーのコミットメントの差など自立発展性に影響を及ぼす要因も確認できた。 ・技術を得た組合員が組合活動にとどまらず、個人のレベルにおいても習得した技術を用い経済活動を行っていることが確認できた。
<p>効率性 Efficiency</p>	<p>-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予定していた活動は予算内ですべて実施され事業目的は達成できた。地方自治体が主体となり販売促進などのコストを負担したこと、地元の専門家を派遣し研修を行ったことから、効率性は高いと言える。
<p>妥当性 Relevance</p>	<p>-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地地方自治体が行っているプログラムの中に本プロジェクトが組み込まれ事業を実施しており、地方自治体内の全ての村が現在活動を実施しており住民のニーズに依っていた。また、本プロジェクトで裨益した組合員が新たな雇用を生み出していることから妥当性は高いと言える。他方、村ごとの特産品選定の過程において、住民の主体性をより広範に取り入れる余地があるのではないかと考えられた。
<p>その他の検証項目 Other Important Items</p>	<p>-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が一丸となり積極的に活動に取り組み、自ら新たな商品開発や独自の事業を行っている住民参加の度合いが高い組合の存在も確認できた。 ・組合のメンバーには女性が多く、また女性が主体となって活動を行っている組合が多いことが確認でき、女性の社会進出が促されている様子も確認できた。

3. 学び、気づき、得られた教訓等 (Lessons Learned and Recommendations)

- 本事業は地方自治体、カウンターパートである地元企業が設立した財団、実施主体である地球ボランティア協会のパートナーシップにより行われており、こうした異なる団体が連携して活動を行うモデルとなり得るプロジェクトであると言える。
- NGO は専門家を招聘しラベルやパッケージを開発することを行い、市長・地方自治体は積極的に商品売り込むなど、それぞれの組織が役割を分担しひとつの組織では成し得ない相乗効果をもたらす好事例であると言える。
- 既に対象地では地方自治体が主体となり活動を行っており、本プロジェクトはその中に組み込まれた1年間の活動であった。今回の効果検証では時間的制約があったことから、対象案件（1年）の効果を切り取り、計測することは困難であった。

4. 検証方法 (Method of Impact/Effect Measurement)

調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文書のレビュー（申請書及び報告書） ・ 事業関係者への直接インタビュー（事業実施団体責任者、地元自治体関係者、事業実施協力団体担当者、事業の直接受益者、事業の最終受益者） ・ 観察及び視察（商品製造工程、地元マーケット） 		
情報提供者氏名 Name of Informants	肩書 Title / Position	所属先 Affiliation	入手機会等 Opportunity / Means
省略			
活用資料等 Reference and Documents Used			

5. 本部記入欄 (For Head Office Use)

検証結果を踏まえた今後の方針や改善策 Future direction and/or Measurement to be taken for further improvement	
---	--